

佐藤文音展 SATO

2024.
5.11 (土)
7.15 (月)

Magical picture books and lithographst →

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

—ふしぎな絵本と版画の世界—



◎休館日／月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
◎開館時間／9:30-17:00(最終入場16:30)
◎入館料／一般500円(団体400円)

※中学生以下無料 ※団体割引は15名様以上から
※障がい者割引、学校利用減免、減額制度あり

◎主催／東御市 梅野記念絵画館 ◎協力／神宮館 不忍画廊 東御市立図書館

AYANE

Magical
picture books
and
lithographs

SATO



で
っ
か
い
ね
こ
が
梅
野
記
念
絵
画
館
に
あ
ら
わ
れ
た

ハットをかぶったもふもふの大きな猫「ニャーチカ」や、海に潜む巨大なおばけイカ、背中から宝石の生えた鹿など、ちょっと不思議な生き物たちが佐藤文音の作品には描かれています。主題や技法によって、多様な表現が見られる彼女の作品は、繊細な描画と色彩によって様々な物語性を感じさせます。

佐藤文音は、『この世に存在する不確かなもの』をテーマに、ささやかな非日常を描き出す版画家です。2018年にポローニャ国際絵本原画展に入選したことをきっかけに、「ふしぎなニャーチカ」、「宝石少女」といった絵本を刊行するなど、絵本作家としても活動する彼女は、作品制作を通して、現実とは離れた夢の中の景色のような、けれどもどこか懐かしさも感じるような不思議な世界を創出します。

佐藤文音は1970年代の東欧の絵本に影響を受けたといいます。東欧の絵本作家の描く儚げな世界観に魅せられ、その独自の作風を生み出すに至りました。彼女の作品からは東欧の絵本文化と作家の身の回りの”不確か”とが融合した、幻想的な美しさを感じられることでしょう。

本展では、佐藤文音を代表する絵本「ふしぎなニャーチカ」の原画をはじめ、日常に潜む小さな歪みを表現したリトグラフや華やかな色彩の水彩画など、幅広いアートワークを展示いたします。彼女の描く不思議な生き物たちは、子どもから大人まであらゆる人々を物語の中へ連れて行ってくれるでしょう。まるで現実と夢の狭間に存在するような佐藤文音の世界をぜひお楽しみください。



佐藤文音 / さとうあやね

北海道小樽市生まれ。
2010年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画専攻卒業。
リトグラフ工房・ラールヴェリテリトグラフ
工房研究所で制作を開始。
2018年 ポローニャ国際絵本原画展 入選。
2021年 神宮館より、絵本『ふしぎなニャーチカ』を出版し、絵本作家としてデビュー。
2022年 不忍画廊より、絵本『宝石少女』を出版。
他、国内外での受賞、展示多数。



AYANE



会期中のイベント

6.23 日 午前部 10:00- 午後部 13:30-

● 身近に版画を楽しもう！
キッチンリトグラフ

身近な素材を使って、作家と一緒にオリジナルの版画作品を制作します。

◎定員 / 各5名(要予約)
◎講師 / 佐藤文音 ◎料金 / 1,000円

梅野記念絵画館まで
お電話にてお申し込みください。

・小学生以下は保護者同伴をお願いいたします。
・展覧会観覧には別途入館料が必要です。

5.25 ± 26 日

● 佐藤文音公開制作

2日間にわたって、作家・佐藤文音がキャンバスいっぱいに「ニャーチカ」の絵を描きます。展示室内で次第に出来上がっていく不思議で幻想的な絵画と、貴重なアーティストの制作風景をぜひご覧ください。

◎料金 / 入館券をご購入ください。

● 佐藤文音サイン絵本&記念色紙展示

5月中、佐藤文音直筆の展覧会記念色紙を東御市立図書館にて特別展示します。展覧会と合わせてぜひご覧ください。

◎場所 / 東御市図書館

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園
TEL: 0268-61-6161 FAX: 0268-61-6162
◎鉄道等の場合 / しのの鉄道・田中駅からタクシーで15分
◎お車の場合 / 上信越道・東部湯の丸ICから約20分

www.umenokinen.com